

全国的に高齢化が進んでいて、橋本市も高齢化進んでいます。そんな中、これからも安心して橋本市での暮らし（生活）が続けられるようにするためには、いざという時に駆けつけてくれたり、ちょっとしたお手伝いを頼めるような身近な地域の助け合いが必要です。

市では現在、市内10地区において地域づくりの基盤となる「協議体（井戸端会議）」を設置するための準備会を開催しています。

「(仮称)恋野地区 第2層協議体」発足！



橋本市で5番目となる、第2層協議体が、5月18日（木）、恋野地区で発足しました。コアメンバーは27名です。区長、老人クラブ、民生委員児童委員、サロン代表、市職員等、多様なメンバーが意欲的に集まってくれています。

恋野地区は、市の南東部、紀の川の南側に位置する地域で、豊かな自然と中将姫伝説などの歴史に恵まれた農業が中心とした地域です。人口は1,569人。高齢者が573人で高齢化率36.5%です。市全体の31.0%より高めです。隣近所同士のつながりが強い地域です。人口減少問題や高齢者の移送問題が混在していると思われます。

昨年の8月、協議体設立に向けた第1回準備会を行い、これまで4回話し合いを重ねてきました。1回目から、やはり「高齢者の移送問題」が共通した課題ということをお話されていました。

これから具体的な話し合いになると思われる、大きなポイントとしては2つ。

- ① 「健康寿命の増進」
- ② 「支え合いの地域づくりを行う」

①では、高齢者が社会参加・交流できる場として、既存の地域の資源（区、サロン、老人クラブ、公民館サークル活動等）の情報を集約し、さらに不足している地域では創り出すということをテーマに話し合います。情報収集は比較的、取り組みやすいですし、達成感もあります。社会参加・交流が②に取り組むための基盤づくりにつながると思います。

②では、共通した課題である「移送問題」についてです。少しハードルは高いですが、①と平行しながら、どんな取り組みが出来るか話し合い、時には先駆的に取り組んでいる事例を学んだり講演会等も…♡。

まずは、あせらず、みんなでしっかりと話し合いながら！

（裏面へ続きます）

橋本市生活支援体制整備事業 第2層（日常生活圏域）の基盤体制状況

(平成30年5月29日現在)

つながろう橋本 (30.3.8 発足)



メンバーは区長さんを中心に民生委員児童委員、老人クラブ、住民の方々です。

橋本地区は、市の中央部に位置し、南海高野線・JR和歌山線、国道371号線・国道24号線がそれぞれ交差する市の玄関口となる地域です。

たすけ合う隅田 (30.2.14 発足)



メンバーは区長さんを中心に地域から推薦された方々です。隅田地区は、市の東部に位置し、新たな住宅開発が進んでおり、新興住宅地と在来地域が混在する地区です。橋本東IC付近に大規模店舗集積地区が見られ、今後、企業誘致用地の造成も見込まれています。



第2層生活支援
コーディネーター3名。

恋野地区 (30.5.18 発足)



メンバーは区長さん、民生委員児童委員、サロン、市職員等多様なメンバーです。恋野地区は、市の南東部、紀の川の南側に位置する地域で、豊かな自然と中将姫伝説などの歴史に恵まれた農業が中心とした地域です。人口は1,569人。高齢者が573人で高齢化率36.5%です。市全体の31.0%より高めです。

たすけ愛 信太 (30.2.8 発足)



メンバーは区長さんを中心に地域から推薦された方々です。信太地区は、市の西北に位置し、農業を中心とした地域です。高齢化率が42.10%で市全体の31.0%より高く(H30.3末現在)、人口減少や高齢者の交通の問題が潜在しています。



第2層生活支援
コーディネーター
1名。

ささえ愛 高野口 (29.12.7 発足)



メンバーは、区長さんを中心に地域で活動(老人クラブ、元気ラリー等)されている方々です。高野口地区は、市の西側に位置する地域で、南側には紀の川が流れ、かつては宿場町として栄えるとともに、地場産業であるパイル織物などの、織物工場が点在しています。高齢化率は、38.40%になり、市全体の31%よりはやや高めです。(高齢化率はH30.3末現在)



第2層生活支援
コーディネーター3名。

上記以外の地区においても、「第2層協議体設立のための準備会」を随時開催しています。